

# 士別市立病院新経営改革プラン 実績報告書

〔平成 27～令和元年度実施分〕

令和 2 年 7 月  
士 別 市

## 1. 市立病院経営改革プラン実施概要

市立病院を取り巻く現状は、慢性的な医師不足、人口減少・少子高齢化により従来にも増して厳しい経営を余儀なくされており、前プランである病院経営改革プラン(平成20～26年度)を検証するとともに、27年度を初年度とする30年度までの新病院経営改革プランを策定し、経営改善に取り組み、さらに国の新公立病院改革ガイドラインに基づき、28年度末には計画期間を32年度とまでとするとともに、一般会計からの繰り出し基準の見直しのほか、30年度の地方公営企業法の全部適用への移行をスケジュール化しました。

経営改善計画の元年度に取り組む具体的項目については計画では33項目ですが、一部実施も含め37項目について実施し、実施率は112.1%となりました。

「経営の安定性、病院機能の明確化」については、名寄市立総合病院との連携においては、これまでよりも多くの転院患者の受入れとなるとともに、連携強化を図るため両病院による地域医療連携推進法人の設立に向けた準備を進めたところです。また、言語聴覚士の採用などリハビリ体制の強化、在宅医療の充実にも努めました。

「医師確保対策」については大学医局に対する要望、北海道や各種団体を通じた派遣依頼、ホームページなどを活用した募集、医師紹介業者を通じての情報収集、知己を通じた声掛けなど様々な形で取り組みました。31年4月から、これまで勧誘を続けてきた内科医師が常勤医師として勤務することとなったほか、貸付け対象者は限定的となりますが医師就業支度金貸付制度を創設したところです。また、新たに当直業務、内科予約外診療業務に旭川医科大学から派遣を受けたところです。本年1月末には外科医である副院長が急逝し常勤医師7名、非常勤医師2名の診療体制となりましたが、名寄市立総合病院、旭川医科大学、北海道大学をはじめ旭川市内の民間病院からの派遣を受けることにより診療体制を維持したところです。

「収益確保」に当たっては、回復期・慢性期などの長期療養を必要とする患者に対応するため、一般病棟60床、療養病棟88床の計148床とし、その内、地域包括ケア病床27床を設置して効率的な運用を図ったところです。また、訪問リハビリ体制の充実や新たな加算の取得、市内開業医との連携によるCT・MRIなどの依頼最影により収益の確保に努めたところです。

本年2月には地域医療、病院機能の市民理解を得るべくLMC(地域医療・介護研究会Japan)と共催で市民公開講座としてLMC地域交流会を開催しました。

「患者サービスの向上」では、31年4月から大学医局からの医師派遣を受けるなど内科予約外(新患)担当医を継続配置し、待ち時間の解消に努めました。

「効率的な業務の取り組み・経費の節減」では、各部署における業務目標の設定と評価を試行したほか、患者数に応じた適正な人員配置をするなど経費の節減に努めました。

この結果、元年度の入院患者数は前年度に比べて1.9%の減、外来患者数は8.4%の減となったもの診療材料費の減少、費用の圧縮にも努めた結果、当初予定した一般会計からの繰入金に不足を生じることなく、収益的収支においては約2千8百万円の純利益となりました。

## 2. 改革プランの取組進捗状況（元年度分）

区 分	項目数	計 画					実 績				
		継続 実施	実施	一部 実施	検討	なし	継続 実施	実施	一部 実施	検討	未実施
①経営の安定性（病院機能の明確化）	11	7	1		1	2	8	3			
②医師確保対策	7	5	1			1	5	1			
③収益確保	10	7		1	1	1	8	1	1		
④患者サービスの向上	5	4				1	4				
⑤効率的な業務の取り組み・経費の削減	8	4		1		3	4	1	1		
計	41	27	2	2	2	8	29	6	2		

※検討実施は実施に、見直検討は検討としています。

計画では継続実施・実施・一部実施・検討を合わせると33項目ですが、37項目で実施となり、実施率 **112.1%**となりました。

## 3. 経営改善取組状況

### (1) 経営の安定性（病院機能の明確化）

項目	具体的な取組	年度	計画	実績	取組内容等																								
①市民が安心できる医療体制の提供	ア. 2次救急体制の維持	27	継続実施	継続実施	27年4月から脳血管疾患の患者の救急隊員トリアージによる名寄市立総合病院への直接搬送体制を確立。 整形外科医減少に伴い休日における整形外科疾患患者についても直接搬送体制を確立。 専門医不在時の救急搬送調整。 29年5月に上川北部地域救急業務高度化推進協議会を組織。																								
		28																											
		29																											
		30 元																											
イ. 名寄市立総合病院との連携強化		27	継続実施	継続実施	地域医療室間の定例協議の開催。（TV会議システム活用。） 直接救急搬送体制の協議確立。 名寄市立総合病院からの年間転院患者数 (2)・①・イに掲載 名寄市立総合病院からの診療支援体制の強化 30年6月から月2回の当直医師派遣開始 31年1月から循環器内科外来診療医師派遣開始 令和元年度 地域医療連携推進法人について名寄市立総合病院と協議・設立準備を確認（2年3月記者発表）																								
		28																											
		29																											
		30 元																											
ウ. 地域連携パスの導入【新規】		29	検討	実施	30年1月 名寄市立総合病院と大腿骨頸部骨折の地域連携パスの運用開始。																								
		30 元		継続実施																									
エ. 他の急性期病院からの慢性期、回復期患者の受け入れ体制の検討		27	検討	実施	病院運営改革会議、経営戦略会議での病棟体制の検討。 名寄市立総合病院との地域連携室間の定例協議の開催。 ○急性期病院からの受け入れ患者数																								
		28	継続実施	継続実施																									
		29																											
		30 元																											
				<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>患者数</th> <th>うち名寄市立</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26年度</td> <td>20人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>66人</td> <td>48人</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>88人</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>114人</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>90人</td> <td>57人</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>108人</td> <td>72人</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			患者数	うち名寄市立	26年度	20人	8人	27年度	66人	48人	28年度	88人	50人	29年度	114人	51人	30年度	90人	57人	元年度	108人	72人	2年度		
	患者数	うち名寄市立																											
26年度	20人	8人																											
27年度	66人	48人																											
28年度	88人	50人																											
29年度	114人	51人																											
30年度	90人	57人																											
元年度	108人	72人																											
2年度																													

地域医療室調べ

	オ. 民間医療機関との連携強化	27 28 29 30 元	継続実施	継続実施	市内開業医による外来・当直支援（27・28年度） ポラリスネットワークの拡大推進 30年10月から北海道緊急臨時的医師派遣事業により旭川市内民間病院から外来医師派遣開始（2年4月で終了）																																
	カ. 今後の医療需要に応じた病院機能の検討	27 28 29 30 元	継続実施	継続実施	病院運営改革会議、経営戦略会議での病棟体制の検討。 地域包括ケア病床の設置、4階病棟を一般病床から療養病床に改修するなど、急性期中心から回復期・慢性期中心へと移行。 平成30年12月に地域包括ケア病床を5階一般病棟9床から4階療養病棟27床に設置替え。																																
②高齢化社会に対応した医療の提供	ア. 療養病床の増床による長期入院患者の受け入れ	27 28 29 30 元	継続実施	継続実施	国の「地域医療介護総合確保基金」の活用により27年11月に4階病棟の改修し療養病床を増床し許可病床を179床（一般91床、療養88床）に変更。 療養病棟の在宅復帰機能強化型を取得 27年11月に2階東病棟を4階に移転（療養運用30床→50床） 28年3月に2階東病棟を再開（療養運用50床→80床） 28年7月に4階療養病床運用拡大（50床→58床） 29年4月 許可病床変更148床（一般60床、療養88床） 30年12月に4階療養病棟内に地域包括ケア病床27床設置 ○療養病棟述べ患者数 <table border="1"> <tr><td>26年度</td><td>3,806人</td></tr> <tr><td>27年度</td><td>11,897人</td></tr> <tr><td>28年度</td><td>23,938人</td></tr> <tr><td>29年度</td><td>25,384人</td></tr> <tr><td>30年度</td><td>25,417人</td></tr> <tr><td>元年度</td><td>24,813人</td></tr> <tr><td>2年度</td><td></td></tr> </table>	26年度	3,806人	27年度	11,897人	28年度	23,938人	29年度	25,384人	30年度	25,417人	元年度	24,813人	2年度																			
	26年度	3,806人																																			
27年度	11,897人																																				
28年度	23,938人																																				
29年度	25,384人																																				
30年度	25,417人																																				
元年度	24,813人																																				
2年度																																					
	イ. 訪問診療・看護・リハビリ等在宅医療の強化	27 28 29 30 元	実施	実施	○訪問件数 <table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>診療</th><th>看護</th><th>リハビリ</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>26年度</td><td>112</td><td>3,663</td><td>70</td></tr> <tr><td>27年度</td><td>451</td><td>3,748</td><td>84</td></tr> <tr><td>28年度</td><td>400</td><td>3,612</td><td>181</td></tr> <tr><td>29年度</td><td>265</td><td>3,199</td><td>208</td></tr> <tr><td>30年度</td><td>190</td><td>2,952</td><td>469</td></tr> <tr><td>元年度</td><td>227</td><td>3,575</td><td>1,224</td></tr> <tr><td>2年度</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 患者数調べ・管理会議資料		診療	看護	リハビリ	26年度	112	3,663	70	27年度	451	3,748	84	28年度	400	3,612	181	29年度	265	3,199	208	30年度	190	2,952	469	元年度	227	3,575	1,224	2年度			
	診療	看護	リハビリ																																		
26年度	112	3,663	70																																		
27年度	451	3,748	84																																		
28年度	400	3,612	181																																		
29年度	265	3,199	208																																		
30年度	190	2,952	469																																		
元年度	227	3,575	1,224																																		
2年度																																					
	ウ. 地域包括ケア病床の効率的・効果的運用	27 28 29 30 元	検討	実施	地域包括ケア病床を27年5月に4階病棟（3室8床）に開設。病棟改修に伴い10月に5階病棟（3室9床）に変更。																																
		28	実施	継続実施																																	
		29	見直検討	継続実施																																	
		30 元		実施	平成30年12月に地域包括ケア病床を5階一般病棟9床から4階療養病棟27床に増床設置替え。																																
	エ. 地域医療室と介護・福祉施設等の連携による地域包括ケアシステムの構築	27 28 29 30 元	検討	実施	地域包括ケア会議への参画。医療介護連携会議ワーキンググループ内での検討実施。																																
		28	継続実施	継続実施	市立病院とケアマネージャーの連携についての協議会開催。情報共有シートの作成。 士別市在宅医療介護連携推進会議の開催。																																
	オ. 訪問看護室のステーシ	28		検討																																	

	ヨン化【新規】	29 30 元	検討	実施	30年1月に土別市立病院訪問看護ステーション「あゆみ」を開設。
--	---------	---------------	----	----	---------------------------------

(2) 医師確保対策

項目	具体的な取組	年度	計画	実績	取組内容等
①医師確保の推進	ア. 道内医大との連携	27	継続実施	継続実施	旭川医科大学からの外来出張医の派遣継続。 北海道大学からの週末当直医の派遣継続。 元年度から旭川医科大学からの当直派遣(第2内科・救急)、内科予約外診療派遣(第2内科)
		28			
		29			
		30 元			
	イ. 大規模民間病院との連携	27	検討	実施	埼玉医科大学国際医療センターから消化器内視鏡医の派遣継続。(28年度で終了)
ウ. 知己・地縁を通じた招致活動の推進	27	継続実施	継続実施	知己を通じ医師勧誘の実施。 28年8月 消化器内科医師1名確保(常勤) 平成28年12月 消化器内科医師1名確保(非常勤) 31年4月 内科医師1名確保(常勤)	
	28				
	29				
	30 元				
エ. インターネット及び民間紹介業者の積極的活用	27	実施	実施	医師転職サイトへの掲載依頼(27年度3件追加)継続掲載	
	28				
	29				
	30 元				
オ. インセンティブ手当等の検討	27	検討	実施	緊急呼出手当の支給対象者の拡大。	
	28	継続実施	継続実施	28年4月に緊急呼出手当及び救急診療業務手当の増額改定。 30年4月に内科予約外診療業務手当を創設 31年4月に医師就業支度金貸付制度を創設	
②医師負担軽減	ア. 医師事務作業補助の強化、オーダーリングシステムの機能向上による診療業務負担軽減	27	検討実施	継続実施	医師事務作業補助者の配置 オーダーリング更新時に診断書作成システムを導入。
		28			
29					
30 元					
イ. コンビニ受診抑制などの市民周知		27	継続実施	継続実施	土別市広報に掲載周知。ホームページ掲載。
		28			
		29			
		30 元			

(3) 収益確保

項目	具体的な取組	年度	計画	実績	取組内容等
①患者確保	ア. 療養病床の増床による長期療養患者の受入れ(再掲)	27	継続実施	継続実施	(1)・②・ア に掲載
		28			
		29			
		30 元			
	イ. 他の急性期病院からの慢性期、回復期患者の受入れ体制の検討(再掲)	27	検討	実施	(1)・①・ウ に掲載
28		継続実施	継続実施		
29					
30 元					

	ウ. 入院透析の受入れ	27 28 29 30 元	継続実施	継続実施	○入院患者の透析件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26年度</td> <td>685</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>888</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>1,117</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>1,520</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>1,145</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>1,533</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 医療情報管理室調べ		件数	26年度	685	27年度	888	28年度	1,117	29年度	1,520	30年度	1,145	元年度	1,533	2年度	
		件数																			
	26年度	685																			
	27年度	888																			
	28年度	1,117																			
29年度	1,520																				
30年度	1,145																				
元年度	1,533																				
2年度																					
工. 市民公開講座や病院見学会による病院機能の市民周知	27	継続実施	継続実施	市民公開講座（北海道大学第1外科武富教授）開催。市民病院見学会の開催、土曜こども文化村院内見学、まなびとくらしのフェスティバル参加。 出前講座（保健推進会議へ山田院長、第三自治会敬老会に藤野リハビリ室長、九十九大学講義に長島副院長、ロータリークラブに山田院長、消費者協会に澤口医師と福川看護師、シルバー人材センターへ長島副院長、食生活改善協議会へ山田院長）																	
	28	継続実施	継続実施	市民公開講座（北海道大学循環器内科筒井教授）の開催。まなびとくらしのフェスティバル参加。 出前講座（自治連わがまちしべつの未来を語る会へ長島院長、JA北ひびき営農部へ山田医師、九十九大学講義に野々川薬局長、佐藤科長）																	
	29	継続実施	継続実施	市民公開講座（全日本病院会北海道支部長 徳田禎久氏）開催。まなびとくらしのフェスティバル参加。 出前講座（ナナカマドシニアクラブに宮本作業療法士）																	
	30	継続実施	継続実施	市民公開講座（前全国自治体病院協議会会長 邊見公雄氏、旭川医科大学内科学講座病態代謝内科学太田教授）開催。まなびとくらしのフェスティバル参加。																	
	元	継続実施	継続実施	市民公開講座（LMC 地域交流会開催）、出前講座（学校職員向け新型コロナウイルス対応除菌清掃指導）、土別救急救命講演会（学校、保育所、少年団体向け業務対応としての救急処置）、まなびとくらしのフェスティバル参加。																	
② 医業収益の確保	ア. 訪問診療・看護・リハビリなど在宅医療の充実（再掲）	27 28 29 30 元	継続実施	継続実施	1・(2)・イ に掲載																
	イ. 診療報酬算定における新たな加算などの取得	27	継続実施	継続実施	2階東病棟（その後4階病棟）で療養病棟入院基本料1及び在宅復帰機能強化加算を取得。急性期看護補助体制加算2.5対1、地域包括ケア入院医療管理料1の取得。 診療報酬改定に向け事前学習会を開催。																
		28	継続実施	継続実施	医師事務補助体制加算1を届出（一般25：1、療養75：1）																
		29	継続実施	継続実施	2階東病棟についても療養病棟入院基本料1算定開始。病棟薬剤業務加算の算定再開。 診療報酬改定に向け事前学習会を開催。																
		30	継続実施	継続実施	地域包括ケア病床を4階療養病棟に設置替えするとともに地域包括ケア入院医療管理料1を取得。																
		元	継続実施	継続実施	後発医薬品使用体制加算3、呼吸器リハビリテーション料1、ADL維持向上等加算を取得																
	ウ. 人間ドック枠の拡大、レディースドックの検討	27 28 29 30 元	検討 一部実施	一部実施	27年度 金曜日に午後ドック（5人枠）を新設。（医師体制確保できず28年度で中止） 29年度 他部署医師のバックアップによる健診日の確保 30年度 スポット医師の確保による健診日の確保																

	エ. CT・MRI など民間医療機関からの読影受託の検討	27	検討	実施	元年度 内科医当番による検診体制の確立。(休診日の解消)																												
		28		継続実施	○他医療機関から依頼によるCT・MRI 検査の実施																												
		29																															
		30																															
		元																															
		元																															
					<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>CT</th> <th>MRI</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27年度</td> <td>16件</td> <td>14件</td> <td>28件</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>1件</td> <td>9件</td> <td>20件</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>8件</td> <td>15件</td> <td>18件</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>2件</td> <td>16件</td> <td>14件</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>37件</td> <td>123件</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">経理係調べ</p>		CT	MRI	その他	27年度	16件	14件	28件	28年度	1件	9件	20件	29年度	8件	15件	18件	30年度	2件	16件	14件	元年度	37件	123件	10件	2年度			
	CT	MRI	その他																														
27年度	16件	14件	28件																														
28年度	1件	9件	20件																														
29年度	8件	15件	18件																														
30年度	2件	16件	14件																														
元年度	37件	123件	10件																														
2年度																																	
	オ. 訪問看護室のステーション化【新規】	28	検討	検討	(1)・②・オに掲載																												
		29	検討	実施																													
③未収金対策	ア. 民間会社への徴収委託の検討	27	検討	検討	翌年度導入に向け検討。																												
		28	継続実施	継続実施	○未収金徴収業務の委託(成功報酬型)																												
					<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>依頼金額総額</th> <th>収納金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28年度</td> <td>1,979,325円</td> <td>255,596円</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>553,574円</td> <td>195,835円</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>553,284円</td> <td>96,310円</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>304,600円</td> <td>81,655円</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">医事係調べ</p>		依頼金額総額	収納金額	28年度	1,979,325円	255,596円	29年度	553,574円	195,835円	30年度	553,284円	96,310円	元年度	304,600円	81,655円	2年度												
	依頼金額総額	収納金額																															
28年度	1,979,325円	255,596円																															
29年度	553,574円	195,835円																															
30年度	553,284円	96,310円																															
元年度	304,600円	81,655円																															
2年度																																	
		29																															
		30																															
		元																															
		元																															

(4) 患者サービスの向上

項目	具体的な取組	年度	計画	実績	取組内容等
①市民サービスの向上	ア. 医師・看護師等医療スタッフ接遇研修の実施	27	継続実施	継続実施	患者サービス委員会等による接遇研修の開催。
		28			
		29			
		30			
		元			
	イ. 病院コンシェルジュの配置	27	継続実施	継続実施	看護師(臨時職員)を1階総合案内に配置。(元年度まで)
		28			
		29			
	ウ. 外来待合室環境改善	27	検討	未実施	1階2階外来多目的トイレの改善、1階待合室のTV設置。 2階外来男子トイレにベビーベッド設置。 2階透析センタートイレを多目的トイレに改修。オストメイト設置
		28		実施	
30			実施		
エ. 入院、外来患者アンケートの実施		27	継続実施	継続実施	入院患者アンケートの継続実施。
		28			
		29			
		30			
		元			
オ. 内科外来診療体制見直しによる待ち時間の解消		27	継続実施	継続実施	新患者の多い月曜日午前に新患専任の医師を追加配置。 内科外来に予約外(新患)担当医を配置し、待ち時間の短縮を図った。
		28	継続実施	継続実施	
		29			
		30			
		元			

## (5) 効率的な業務の取り組み・経費節減

項目	具体的な取組	年度	計画	実績	取組内容等			
①経営形態の検討	ア. 地方公営企業法の全部適用等、経営形態の検討	27	検討	未実施	病院経営改革会議で地方公営企業法の全部適用を検討し、新経営改革プランの見直しにより平成30年4月移行をスケジュール化した。 30年12月 公営企業法の全部適用に向け、土別市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正。 30年4月から地方公営企業法の全部を適用し、事業管理者を設置した。			
		28	検討	検討				
		29						
		30	実施	実施				
②効率的業務の取り組み	イ. 各部門におけるバランススコアカード等の導入	27	検討	一部実施	看護部で年間活動計画と評価を実施。 元年度から他部署でも業務目標の設定と評価を試行			
		28	一部実施					
		29						
		30 元						
	ウ. 医事業務、給食業務などの委託業務の見直し	27	継続実施	継続実施	27年度 滅菌業務一部見直しによる業務委託実施 28年度 CT、MRI、シネアンギオ保守の業務内容変更 29年度 給食業者決定にプロポーザル方式導入実施			
		28						
		29						
		30 元						
	工. 患者数に応じた適正な職員配置		27 28 29 30 元	継続実施	継続実施	職員数		
							看護職	JAF 1ヵ
27年4月						123人	39人	13人
28年4月						112人	39人	12人
29年4月						103人	38人	13人
30年4月						96人	38人	12人
31年4月						94人	38人	13人
2年4月						95人	40人	13人
3年4月								
30年度 理学・作業療法士の増員 元年度 言語聴覚士1名採用								
才. 時間外勤務の削減	27 28 29 30 元	継続実施	継続実施	業務改善委員会等による業務効率化の推進により時間外勤務の削減に努めた。 1人当たり時間外勤務(年間)				
						看護職	JAF 1ヵ	事務
					26年度	121時間	199時間	162時間
					27年度	111時間	183時間	174時間
					28年度	118時間	124時間	115時間
					29年度	92時間	147時間	188時間
					30年度	68時間	125時間	117時間
					元年度	65時間	120時間	168時間
					2年度			
					③経費の削減	ア. 院内照明のLED化の推進等	27	検討
28	検討	実施	照明修繕時のLED化の実施(5灯) 誘導灯のLED化の実施(106カ所)					
29	一部実施	実施	照明修繕時のLED化の実施(9灯) 水道節水弁の導入により使用水量の削減を図った。					
30		実施	照明修繕時のLED化の実施(3灯)					
元		実施	照明修繕時のLED化の実施(8灯)					
イ. 院内各種委員会の見直し	27	検討	実施	委員会総数 27 データ提出加算に伴いコーディング委員会を新設。				
	28	一部実施	未実施					
	29		実施	広報委員会と患者サービス委員会を統合し広報委員会とした。				



ウ. 看護師修学資金貸付の抑制	27	継続実施	継続実施	修学資金貸付		
	28			新規貸付	貸付総数	貸付金額
	29			2人	12人	9,870千円
	30			2人	6人	4,410千円
	元			2人	7人	5,320千円
	30			1人	5人	4,130千円
	元			0人	3人	2,520千円
	2			2人	2人	1,680千円
	2					

#### 4. 決算の状況

##### 【収益的収支】 税込

(単位：百万円)

項目		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
収 入	1 医業収益	2,538	2,500	2,654	2,597	2,475	
	(1)診療収入	2,262	2,227	2,344	2,283	2,154	
	入院収益	1,256	1,259	1,356	1,293	1,222	
	外来収益	1,006	968	988	990	932	
	(2)その他	276	273	310	314	231	
	その他医業収益	134	131	134	138	145	
	2 医業外収益	883	848	849	806	797	
	(1)他会計負担金	321	319	457	407	335	
	(2)他会計補助金	400	359	147	167	217	
	(3)道補助金	21	20	19	19	18	
	(4)長期前受金戻入	122	134	203	191	205	
(5)その他	19	16	23	22	22		
その他医業外収益	18	15	22	21	22		
患者外給食収益	1	1	1	1	0		
経常収益	A	3,421	3,348	3,503	3,403	3,272	
支 出	1 医業費用	3,365	3,309	3,330	3,232	3,227	
	(1)給与費	1,733	1,669	1,691	1,632	1,639	
	(2)材料費	517	519	564	486	414	
	(3)経費	900	886	835	875	936	
	(4)減価償却費	183	204	204	207	214	
	(5)その他	32	31	36	32	34	
	2 医業外費用	27	24	21	15	14	
経常費用	B	3,392	3,333	3,351	3,247	3,241	
経常損益 (A-B)	C	29	15	152	156	31	
特 別	1 特別利益	D	1	0	2	0	
	2 特別損失	E	2	4	2	6	3
特別損益 (D-E)	F	△1	△4	0	△6	△3	
純損益 (C+F)		28	11	152	150	28	
累積欠損金		1,989	1,977	1,825	1,675	1,647	
不良債務		△3	△4	△177	△380	△416	

##### 【資本的収支】 税込

項目		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
資 本 的 収 入	1 企業債	268	123	150	145	216	
	2 他会計出資金	2	3	0	0	4	
	3 他会計負担金	253	248	236	138	163	
	うち建設・医療機器分	253	248	176	78	80	
	うち建物以外基準外	0	0	60	60	83	
	4 道補助金	19	0	0	0	0	
	5 その他	2	3	26	15	2	
資本的収入計	A	544	377	412	298	385	
支 出	1 建設改良費	322	146	165	161	237	
	2 企業債償還	323	332	249	130	156	
	3 その他	4	5	4	6	5	
資本的支出計	B	649	483	418	297	398	
資本的収支 (A-B)	C	△105	△106	△6	1	△13	
補てん財源	E	105	106	6	0	13	
補てん財源不足額 (C+E)		0	0	0	△1	0	

##### 【一般会計繰入金】

項目		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
一般会計からの繰入金合計		1,118	1,072	1,016	888	895	
うち基準		786	806	926	828	865	
うち特別		160	80	90	60	30	
うち追加分		172	186	0	0	0	

## 5. 数値目標の達成状況

### 【収支改善にかかわるもの】

項 目	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	プラン目標値 (R1)
経常収支比率	100.9	100.5	104.5	104.8	101.0		100.2
経常収支比率(特別繰入を除く)	91.1	92.5	101.8	103.0	100.0		99.3
医業収支比率	75.4	75.6	79.7	80.4	76.7		77.0
修正医業収支比率	78.6	79.9	82.3	83.2	79.7		80.1

### 【経費節減】

項 目	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	プラン目標値 (R1)
職員給与対医業収益比率	68.3	66.2	63.7	62.8	65.8		63.7
材料費対医業収益比率	20.4	20.8	21.2	18.7	16.7		21.0
経費対医業収益比率	35.5	36.0	31.5	33.7	37.8		35.6
うち委託料対医業収益比率	13.8	14.4	13.7	14.6	15.6		14.8

### 【収入確保】

項 目	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	プラン目標値 (R1)
一般病棟入院患者/日	71.6	44.8	46.0	45.7	45.0		45.0
療養病棟入院患者/日	32.5	65.6	69.5	69.6	67.8		65.0
入院患者合計/日	104.1	110.3	115.6	115.3	112.8		110.0
外来患者/日	524.5	497.5	476.0	447.2	414.9		480.0

※ 各比率は税込決算額から算出しています。

※ 経常収支比率（100%を下回ると経常収支において赤字となる）

$$\frac{(\text{医業収益} + \text{医業外収益}) \times 100}{\text{医業費用} + \text{医業外費用}} (\%)$$

※ 医業収支比率（医業活動そのものでの収益性を示す）

$$\frac{\text{医業収益} \times 100}{\text{医業費用}} (\%)$$

※ 修正医業収支比率

（本来の医業の提供に係わる収益、費用のみで表される指数。100%を超えれば医業活動のみで利益を生んでいる状態）

$$\frac{(\text{医業収益} - \text{一般会計繰入}) \times 100}{(\text{医業費用} - \text{減価償却費} - \text{退職手当})} (\%)$$